

ツルヨシ群落



分布	本州から九州、沖縄に分布。 ⁽¹⁾
生態	川の上流域の河岸や砂礫地に多く生える。つるは細長い円柱形で地上を這い、節ごとに分枝する。茎は円柱形で高さ 1～1.5m になる。中空で節に短い軟毛がある。 ⁽¹⁾
配慮事項	上流域のツルヨシ群落は河川の景観を特徴づけるほか、昆虫や小動物の生息の場としても利用されている。 ⁽¹⁾

(1) 川の生物図典、財団法人 リバーフロント整備センター、1996

オオタチヤナギ群落



分布	北海道(南西部)、本州(北陸地方、近畿地方以西)、四国、九州に分布。 ⁽¹⁾
生態	高木で、小枝は緑色ないし灰緑褐色で、はじめ密にあるいはまばらに短毛をしくが、のち無毛となる。枝は分岐点が多、この部分は折れやすい。 ⁽²⁾
配慮事項	護岸樹として利用する場合は、繁茂のしすぎにより洪水時の流れを阻害しないよう適度な選定や間伐等の管理が必要となる。 ⁽³⁾

(1) 山溪ハンディ図鑑3 樹に咲く花 離弁花、石井英美・崎尾均・吉山寛ほか、2000

(2) 日本の野生植物(大本Ⅱ)、佐竹義輔・原寛・亘理俊次・冨成忠夫、1989

(3) 川の生物図典、財団法人 リバーフロント整備センター、1996

ガガイモ



区分	宮崎県版レッドリスト: 準絶滅危惧
分布	南千鳥から北海道～九州、朝鮮・中国にかけて分布。 ⁽¹⁾
生態	原野にはえる多年草のつる草。横にはう地下茎があり、茎は細い軟毛があり、切ると白い乳液が出る。 ⁽¹⁾

(1) 日本の野生植物(I)(II)(III)、佐竹義輔・大井次三郎・北村四郎・亘理俊次・富成忠夫、1982